

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

子ども家庭局

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
I 「稼げるまち」の実現																		
働く親への子育て支援強化(保育サービス、放課後児童クラブ、病児保育)	1	病児保育事業	多様な保育ニーズに対応するため、家庭での保育が困難な病児中・病気の回復期にある児童を一時的に預かる病児保育事業を実施する。	●	●	子ども施設企画課	事業を利用する児童数の維持	13,221人	R5	R5年度水準維持	R6年度水準維持						296,749	290,175
	2	特別保育事業補助	多様な保育ニーズに対応するため、民間保育所の延長保育、一時保育、障害児保育等の特別保育事業を実施する。	●	●	子ども施設企画課	延長保育実施する施設割合の維持	72.9%	R5	72.9%	72.9%	一時保育を実施する施設割合の維持	42.2%	R5	42.2%	42.2%	623,200	591,120
	3	第2子以降の保育料無償化	多子世帯の子育てを支援するため、第2子以降の保育料の無償化を実施する。	●	●	子ども施設企画課	保育料無償化対象者数の維持	—	—	4,300人	R6年度水準維持	子育ての悩みのうち「子育ての経済的な負担が大きい」と回答した割合の減少(子ども家庭局実施の市民アンケート)	26.2%	R5	—	R5年度比減少	832,368	866,949
	4	子育て短期支援事業	保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合等に、児童養護施設その他の保護を適切に行うことができる施設等において、一定期間、養育・保護を行う。	●	●	子育て支援課	利用実績1,000人日/年の維持	1,000人日/年	R5	1,000人日/年	1,000人日/年						11,700	24,433
	5	放課後児童クラブの長期休暇等利用者支援事業	長期休暇期間中等における保護者の負担を軽減するため、午前8時以前からの受入れを促進するとともに、期間中における昼食提供の支援を全市に拡大する。	●	●	子ども若者育成課	放課後児童クラブに対する満足度の向上(開所日、開所時間)	89.4%	R5	R5年度比向上	R6年度比向上						10,000	18,260
働く親への子育て支援強化(シン・子育てファミリー・サポート事業)	6	シン・子育てファミリー・サポート事業	提供会員の報酬額を市で負担し、依頼会員の負担を軽減する。 また、引き続き協力団体に預かり場所を提供してもらい、預かり場所での活動を支援する。 タクシー送迎支援については、令和6年度のモデル実施から令和7年度より送迎支援を市内全域へ拡大する。 さらに、育休復帰後1年目の会員について、利用料金の無償化等、利用しやすい仕組みを構築する。	●	●	子育て支援課	活動件数の増加	6,540件	R5	7,160件	7,848件						26,200	35,400
II 「彩りあるまち」の実現																		
子どもまんなかcityの推進による都市イメージの向上	7	子どもまんなかcity推進事業	「子どもの視点・考えを大切にすること」「子どもを社会を構成する存在として尊重すること」この2つを実現することができる「子どもまんなかcity」を目指す。 そのための取組として、社会全体で子どもや子育てを応援する気運を醸成するための事業を実施する。	●	●	総務企画課	「子育てしやすいまちだと思ふ」と回答した市民の割合の増加(子ども家庭局実施の市民アンケート)	88.9%	R5	R5年度比増加	R6年度比増加						9,000	10,800
	8	子育てに関する情報提供の充実	子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、情報誌「北九州市こそだて情報」や「子ども家庭レポート」を発行し、子育てに関する情報の提供を行う。 市内外の子育て世帯に対し、本市の子育て環境の魅力をPRする。	●	●	総務企画課	「北九州市こそだて情報」の認知度(子ども家庭局実施の市民アンケート)	19.4%	R5	25.0%	25.0%	「北九州市は子育てしやすいまちだと思ふ」と回答した市民の割合の増加(子ども家庭局実施の市民アンケート)	91.1%	R5	R5年度比増加	R6年度比増加	6,000	5,540
	9	二十歳の記念式典経費	20歳に達した青年を祝い励ますとともに、大人としての自覚を促すため、市民・民間・行政が一体となって、式典を実施する。	●	●	子ども若者育成課	式典参加者の満足度の向上	78.9%	R5	R5年度比向上	R6年度比向上						13,200	17,348

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
Ⅲ 「安らぐまち」の実現																		
妊娠～出産～子育てまで一貫した支援(子どもを生ま育てたい環境づくり)	10	母子健康診査	母子保健法に基づき、妊婦や乳幼児の疾病または異常の早期発見及び疾病や障害の予防、悪化防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の健康診査等を実施する。	●	●	子育て支援課	妊婦健診受診率	99.0%	R5	99.0%	99.0%	3歳児健診受診率	98.7%	R5	98.7%	98.7%	809,025	738,632
	11	妊娠・出産・養育にかかる相談支援事業(R6) 育ちのはじまりサポート事業(R7)	妊娠・出産・産後の時期を健やかに過ごし、母子の健康が確保されるように、産後ケアや産婦健康診査等、妊娠期、出産期、産後期の切れ目ない支援体制を構築するとともに、関係機関との連携を促進する。 また、妊産婦の不安や負担軽減を図るため、市内産科・小児科等医療機関を連携し、新たに「1か月児健康診査」を開始するとともに、新生児期に行う検査への助成の拡大を図ることによって、安心して安全に出産及び産後を過ごすことができるよう支援体制を構築する。	●	●	子育て支援課	産後ケア利用延べ回数の維持	3,336回	R5	R5年度水準維持	R6年度水準維持	1か月健診および新生児マススクリーニング検査の受診率(検)100%	—	—	—	100%	71,548	147,400
	12	一時預かり事業	私立幼稚園等の教育時間の前後や長期休業日等を行う預かり保育に要する費用を助成する。 あわせて、保育を必要とする2歳児の定期的な受け入れに要する費用を助成する。	●	●	こども施設企画課	事業(幼稚園型)を利用する児童数の維持	370,214人	R5	R5年度水準維持	R6年度水準維持						208,000	221,735
	13	のびのび赤ちゃん訪問事業	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て情報の提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービスの提供につなぐ。	●	●	子育て支援課	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の実施率の維持	97.6%	R5	R5年度水準維持	R6年度水準維持						47,900	47,900
	14	乳児等通園支援事業	全てのこどもの育ちを応援するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらずの形で支援を強化するため、保護者の就労有無を問わず利用できる「こども誰でも通園制度」を実施する。	●	●	こども施設企画課	事業を利用するこどもの増加	—	—	—	R6年度比増加						80,000	22,168
幼児教育・保育の環境整備の推進	15	シン・子育てファミリー・サポート事業	提供会員の報酬額を市で負担し、依頼会員の負担を軽減する。 また、引き続き協力団体に預かり場所を提供してもらい、預かり場所での活動を支援する。 タクシー送迎支援については、令和6年度のモデル実施から令和7年度より送迎支援を市内全域へ拡大する。 さらに、育休復帰後1年目の会員について、利用料金の無償化等、利用しやすい仕組みを構築する。	●	●	子育て支援課	活動件数の増加	6,540件	R5	7,160件	7,848件						26,200	35,400
	16	第2子以降の保育料無償化	多子世帯の子育てを支援するため、第2子以降の保育料の無償化を実施する。	●	●	こども施設企画課	保育料無償化対象者数の維持	—	—	4,300人	R6年度水準維持	子育ての悩みのうち「子育ての経済的な負担が大きい」と回答した割合の減少(子ども家庭局実施の市民アンケート)	26.2%	R5	—	R5年度比減少	832,368	866,949
	17	保育人材育成・保育士等の確保	総合的に保育人材を育成し、保育現場の業務負担を軽減するため、子育て支援員研修等を実施するとともに、基準保育士数を上回って雇用した保育士や保育補助者を雇用する費用を補助し、保育現場の環境改善を図る。	●	●	こども施設企画課	保育補助者雇上人数	—	—		20人							159,580
こどもまんなか社会の意識醸成	18	こどもまんなかcity推進事業	「こどもの視点・考えを大切にすること」「こどもを社会を構成する存在として尊重すること」この2つを実現することができる「こどもまんなかcity」を目指す。 そのための取組として、社会全体でこどもや子育てを応援する気運を醸成するための事業を実施する。	●	●	総務企画課	「子育てしやすいまちだ」と回答した市民の割合の増加(子ども家庭局実施の市民アンケート)	88.9%	R5	R5年度比増加	R6年度比増加						9,000	10,800

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

子ども家庭局

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
子どもの居場所づくり	19	子ども食堂開設支援事業	地域のニーズに沿った持続可能な子ども食堂の取組を支援するため、新規開設時や年間の運営に掛かる費用を補助し、地域や企業、各団体、学校などと連携を深めながら子ども食堂の取組を推進するもの。 また、子ども食堂が安全安心に運営されるための研修会等を実施するとともに、子ども食堂や子ども食堂ネットワーク北九州の運営に必要な支援を実施する。	●	●	こども若者成育課	子ども食堂開設継続率	98.0%	R5	対前年度比90%以上	対前年度比90%以上						6,000	10,045
	20	プレーパーク普及促進事業	こどもの健全育成に資する外遊びの場を市内の各地域に広げるため、こどもの外遊びや体験の充実を活動目的とする中間支援組織と連携して、地域住民等が主体となって開催するプレーパークの活動を支援する。	●	●	こども若者成育課	プレーパーク参加者数(子ども:延人数)の増加	357人	R5	R5年度比増加	R6年度比増加						3,000	3,656
	21	放課後児童クラブ運営費	希望するすべての児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、児童の健全な育成を図るため、放課後児童クラブを運営する。	●	●	こども若者成育課	放課後児童クラブに対する満足度の向上(開所日、開所時間)	89.4%	R5	R5年度比向上	R6年度比向上						2,071,265	2,377,985

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。